

『新座稲門会便り』(No.12)  
新座稲門会会報(2021年8月)  
編集発行:新座稲門会幹事会

◆会長あいさつ◆

コロナ禍の中、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、新座市でも蔓延防止措置が取られているため、今年度も現在まで通常の活動ができずにいます。7月の総会も、昨年同様に書面での決議となりました。

そんな中、東京オリンピックが開催されました。新座市も射撃競技の開催やブラジル選手団の受入などで気分が盛り上がるはずでしたが、今となっては無事の終了をお祈りするばかりです。

さて、幹事会では、コロナ終息後を見据え、設立10周年記念行事の開催も含めて少しずつ活動を始めております。会員の皆様におかれましても、来たるべきコロナ収束後に思いを馳せていただきまして、今後とも本会へのご支援ご協力をお願い申し上げます。

埼玉県も7月31日までの蔓延防止重点措置区域から、8月31日まで緊急事態措置区域となりました。新型コロナ感染には十分気をつけていただくとともに、熱中症にもくれぐれも気をつけていただき、この夏を無事乗り切ってまいりましょう。  
(新座稲門会会長 伊藤雅夫)

◇新座稲門会 主な活動報告◇

2020年度(令和2年度)

- 5月 第8回「森の音楽会」(中止)
- 6月20日 今野一男副幹事長逝去  
(6月25日告別式)
- 7月末 第11回総会(書面審議)
- 9月13日 「HUGネット」  
令和2年度第1回代表者会議参加  
伊藤会長・小見野副会長
- 10月18日 稲門祭(中止)
- 10月8日 第9回「森の音楽会」開催  
「北野三丁目憩いの森」にて
- 11月6日 「HUGネット研修会」  
野火止用水・小川用水散策  
伊藤会長参加

(令和3年)

1月 早稲田駅伝(中止)  
2021年度(令和3年度)

- 7月4日 第10回「森の音楽会」開催  
\*詳細は以下に。
- 7月末 第12回総会(書面審議)

♪7/4 第10回「森の音楽会」♪



「北野三丁目憩いの森」での最後の開催となりました。森の一部が地主さんに返還されるためです。雨のため集会所内での開催となりました。伊藤会長の挨拶で始まった音楽会は、市外からの来場者も含め十数名が、温かい雰囲気の中で、客席と一体となったものになりました。

当日は3部構成で、第1部「昭和歌謡編」では、先頃亡くなられた作曲家、小林亜星さんのメドレーも登場しました。「どこまでも行こう」「日立の樹」(この木何の木、気になる木……)「明治チェルシーの歌」など、昭和世代には懐かしさ一杯の曲でした。

第2部「童謡・童話編」では、関東大震災後に和光市に移住し、そこで生涯を終えた作詞家、清水かつらさんが作詞した「靴が鳴る」「緑のそよ風」も歌われました。新座の隣り街に住んでいた方の歌を、会場の皆さんと歌えたことはたいへん意義のあることかなと思います。

第3部「ISSEI&スペシャル」では、ISSEIさんの思いがこもった歌声が響きました。そんな中で、コロナ禍に生まれた早稲田の現役学生による応援歌「そして紺碧の空へ」が歌われました。我々卒業生には何とも感慨深い歌です。今後も愛唱歌にしたいですね。

鼻笛とノコギリ演奏で共演していただいたたいはいさん、会場設営をしていただいた細川さんをはじめ、お手伝いいただいた皆様に感謝を申し上げます。次回以降は会場を移しての開催を予定しています。ぜひ今後とも足をお運びください。

(伊藤博)

## ♪彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞♪

### 「HUG ネット活動」

「ふるさとの緑と野火止用水をはぐくむ会（HUG ネット）」の活動が、令和2年度彩の国埼玉環境大賞 県民部門で優秀賞を受賞しました。

これは、新座市内にある十文字学園女子大の児童教育学科 星野 敦子 教授による、地域連携共同研究所のプロジェクト「地域人材育成と環境保全を目指したネットワークの構築」として展開している活動です。新座市の野火止用水や雑木林の保全に関わる複数の市民団体の連携を促進するため、十文字学園女子大がプラットフォームとなり、市を含めたネットワークとして2015年に発足したものです。13の市民団体が参加し、子どもの自然体験や、ホテルの再生など長年にわたる取り組みの成果が表彰の対象となりました。

新座稲門会もこの活動に協力しており、令和2年9月13日には「HUG ネット」令和2年度第1回代表者会議に、伊藤会長と小見野副会長が参加しています。また11月6日の「HUG ネット研修会」には、伊藤会長が参加して、野火止用水などを散策しました。今後の活動が楽しみです。

## ◆報告 今野副幹事長一周忌◆

去る6月20日は、新座稲門会設立当初から本会の牽引役だった、今野一男前副幹事長の一周忌でした。今野さんは、本会ホームページの立ち上げから、ホームページ管理費の支払いまで、全て引き受けて下さっていました。会計幹事として、過去数年分の管理費を返金する必要があるため、一周忌に合わせてお焼香を兼ねて、返金に伺うこととなりました。

7月17日(土)午後、伊藤会長、齋藤幹事長、会計幹事の伊藤幸子・博でご自宅に伺い、お焼香をさせていただきました。なお、ご仏前に「新座稲門会有志」の花をお供えさせていただきました。

奥様からは、今野さんが生前いかに早稲田や稲門会が好きであったかを伺いました。また、返金として用意した10,269円を、今後の稲門会活動（飲み会の時など）に役立ててほしい、「主人もそれが一番喜ぶと思います」とおっしゃって、全額寄付していただきました。なお、お墓は「朝霞わくわくドーム」の近く、黒目川沿いにある第二朝霞聖地霊園とのことです。

## ◆◆◆会員近況報告◆◆◆

会員の皆さまからのコーナーを作成しました。随時、投稿を募集しています。コロナ禍で対面でお会いできない中、ぜひ近況をお寄せください。

【字数】200字程度 \*可能でしたらホームページに掲載可能な写真を1枚。

【投稿先】[sec@niiza-toumonkai.com](mailto:sec@niiza-toumonkai.com)

## ●○韓国からアニョハセヨ!○●

新座稲門会の皆様、アニョハセヨ! 93年社学卒の柴田です。大変ご無沙汰しております。韓国に単身赴任して早いもので2年半弱が経ちました。1年目の2019年は日韓関係の悪化や、2020年からの新型コロナ感染拡大と、仕事面では色々と逆風が吹いて続けておりますが、何とか頑張っております。

さて、現地での生活について少し。韓国料理は辛い物も多いですが基本的にはどれも美味しいので助かっています。休日はゴルフに行く事が多いです。ただ、ゴルフ場が少ない(?)為に、価格が非常に高いのが難点です。全体としては日本に似て非常に住みやすい国だと思います。今暫くは難しいとは思いますが、自由往来が出来る様になった際には、是非韓国へ遊びに来てみて下さい。\*写真はゴルフの時のものです。右から2番目が私です。

(柴田之嗣・1993・社学・在韓国)



★ 昨年4月、池袋の会計事務所内の社労士チームに転職。入社一週間で緊急事態宣言、その翌週からテレワークも開始。同僚との飲み会も憚られ、コミュニケーションの難しさを感じることもありますが、一方、社労士業界ではオンラインによるセミナー等が急速に活発になり、自宅で気軽に日本中の社労士と繋がることのできることに感動を覚えたりもしています。

本題とは関係ないですが、たまには広い場所で深呼吸したくなって、5月に友人と二人で、飯能のムーミン谷に行ってきました。

(鎌田ひろ美・1983・一文・練馬区)



★ ステイホームの中、新座市内で手軽な楽しみを見つけました。早朝の平林寺ウォーキングです。

新座ふるさと館から野火止用水沿いに境内林の脇を歩くと、シジュウカラなどの多くの野鳥がさえずり、季節の草花が迎えてくれます。途中には無人農産物直売所があり、新鮮野菜が1袋100円。何が並ぶかはその日のお楽しみ。境内林を1周すると約2.5キロ。ちょっと汗ばんで、小腹が空いた感じになります。その後、近くの「星乃珈琲店」に入りモーニングサービスで朝食。新座にいながら、ちょっとした軽井沢気分(?)が味わえます!

(伊藤博・1984・教育・東)



★ 私がステイホームの中ではまっているのはガーデニングです。昨年、たまたまチューリップの球根を買って植えたところ、世の中が停滞している中でも、みるみる育ち元気をもらいました。

それから庭にテーブルを置いて旅行気分浸ったり、知人を短時間ですがおもてなししたりして元気をもらっています。

(澤田宏久・1984・理工・野火止)



★ コロナ禍で遠出を控えて、埼玉県内の日和田山(ひわださん)に通っています。

305mの低山ですが、登山家の故田部井淳子さんが、若き日に登山訓練し、晩年にはリハビリにも訪れた山です。「女坂」ルートは楽勝!「男坂」ルートは難度高し!中腹からは、鳥居の向こうに彼岸花で有名な巾着田を見下ろせます。

皆さんもこの機会に日和田山を訪れてみませんか。

(伊藤幸子・1984・教育・東)

